

メビウス編みとは？

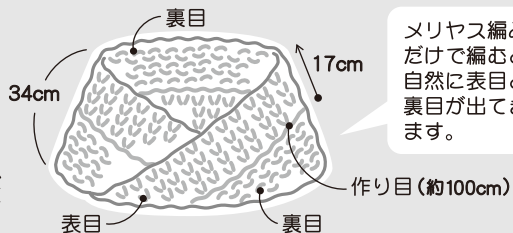
クロバー「匠」輪針120cmを使って、メビウスの輪のように、はぎ目のないねじれた輪を編む編み方です。メビウス編みのショールは、ねじれた編地が肩から落ちにくく、快適に着用できます。目数を調整することで、ネックウォーマーや子供用ショールなども編むことができます。

作品例

ショール：
周囲 約80cm

編み始める前に

作りたい長さを計り、ゲージから目数を計算してください。



メリヤス編みだけで編むと自然に表目と裏目が出てきます。

● 作り目をするためにかぎ針を使用します。

作り目のときに使うかぎ針の太さ	
輪針号数	かぎ針号数
6号	7 / 0
8号	8 / 0
10号	9 / 0
12号	10 / 0
15号	7 mm
7 mm	8 mm
8 mm	10 mm

メビウス編みの目の作り方 (作り目や編み方の基礎となる説明は省略しています)



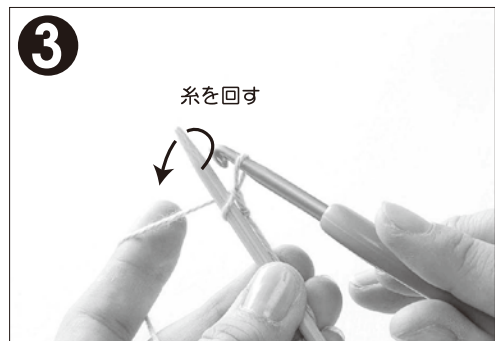
最初の作り目

かぎ針にほどける輪を作り、糸の上に輪針の先をのせます。



1目できました

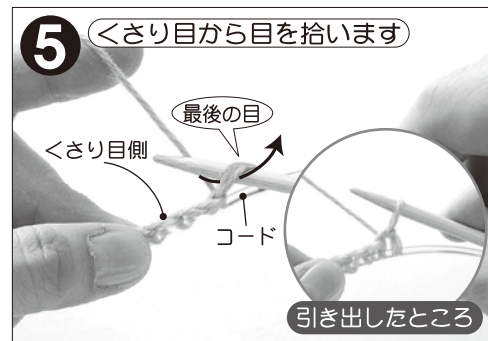
輪針をのせたまま、くさり編みをするように糸をかけて引き抜きます。



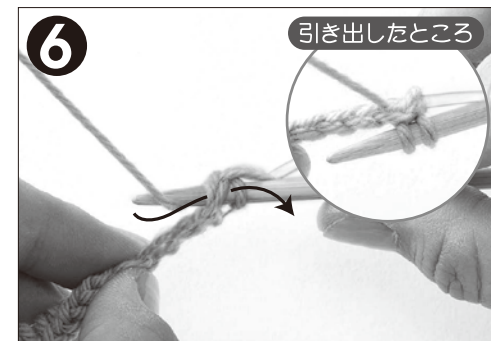
左手にかけた糸を輪針の後ろに回し、①の状態にします。②③をくり返し、できあがりの寸法分の作り目をします。



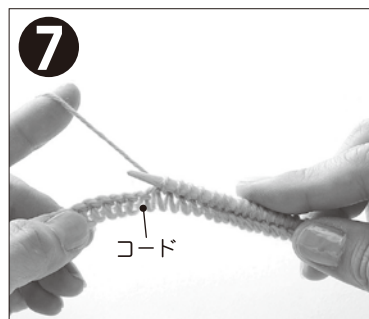
最後は糸を針の手前にして、かぎ針に残った目を輪針に移します。



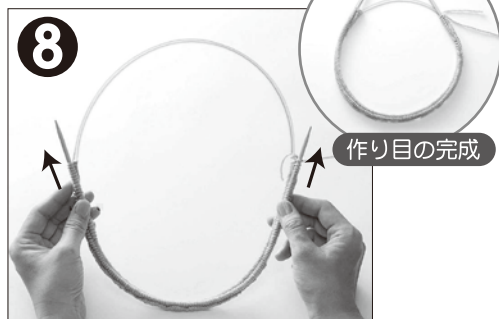
コードのところまで目を移動し、くさり目側を上に乗せます。1目めは、最後に針に移した目とコードの間に針を入れ、糸を引き出します。



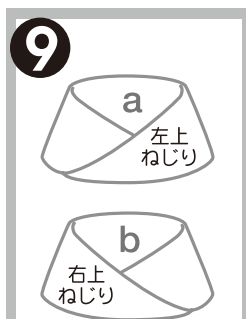
2目めからはくさり目を束に拾い、針を入れ糸を引き出します。コードにかかった目は、そのままにしておきます。



⑥をくり返し、作り目を全目拾います。



拾い終わったら、針を矢印の方向に引き、輪にします。



輪編み始める前に、できあがり作品をどちらにねじることが決めます。



aのように、かぎ針で作ったくさり目の列を輪針の途中で1度ねじって編むと、できあがり作品は左上にねじれます。bのようにねじれないようにして編むと、できあがり作品は右上にねじれます。



編み進めると、自然にメビウスの輪になります。

取扱上の注意

コードの曲りくせの強い時は、お湯(60~70℃)につけて伸ばすと、もとに戻り編みやすくなります。(火傷しないよう注意してください)